資料4－4－1

交通マネジメント推進に向けた
2019年夏の試行内容（案）について

1．試行の期間

- 大会本番並みの目標を掲げ、交通混雑緩和に向けた取組を総合的にテストする期間を設定

〇道路交通　・一般交通
　東京圏の広域における一般交通について、大会前の交通量の一律10%減を目指す。特に重点取組地区については、出入りする交通量の30%減を目指す。
・首都高速道路における交通量の更なる減
　首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。

- オリンピック・パラリンピックの期間に相当する期間を集中取組期間とし、企業等に重点的な取組を依頼
- 各社取組のピークを合わせるチャレンジウィーク及びコア日を中心に、効果測定を実施
- TSMは大会時と同等規模で数日試行する他、選手村～競技会場間でバスを実走

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	試行期間（スムーズビズ推進期間）				20
21		チャレンジウィーク（7/22～26）、コア日（7/24）				27
28		集中取組期間①　（7/22～8/2）				3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18		集中取組期間②　（8/19~8/30）				24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

（参考）2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23		
	オリンピック期間（7/24~8/9）					
	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	パラリンピック期間				
	(8/25~9/6)					
	7	8	9	10	11	12

2．試行の概要

＜試行の主な内容＞

ＴＤＭに関する試行

- 企業等への働きかけ（東京圏、重点取組地区、特定エリア等）
- 政府・都庁の取組　等

ＴＳＭに関する試行

- 高速道路の本線料金所流入調整、入口閉鎖
- 一般道路の交通対策（信号調整）

＜検証の主な内容＞

交通マネジメント（ＴＤＭ＋ＴＳＭ）の検証

・交通量低減（首都高、一般道）
・移動時間分布　等

TDMの検証

・事前事後アンケートによる企業の取組内容、意向
・特定エリアでの交通低減量
・交通量の減少量の推定
等

物流の検証

物流効率化に向けた取組の実態調査（サンプル調査）

TSMの検証

・本線流入調整
・入口閉鎖
・一般道路交通対策

↳ 影響把握を合わせて実施

※テストイベント等の実施に合わせ、各会場付近において大会期間を想定した交通規制等を実施・検証するほか、会場周辺の駐車場利用の抑制に関する試行などを別途実施する。

試行結果を踏まえた、追加対策の検討、大会時に向けた交通マネジメント改善策の検討　等

3．チャレンジウィークの取組

	TDM	TSM
7月２２日(月)	企業等による交通混雑緩和の取組 （各社の取組のピーク）	―
２３日(火)	企業等による交通混雑緩和の取組 （各社の取組のピーク）	―
<TDM取組のコア日、 オリンピック開会式１年前> ※　２４日(水)	・企業等による交通混雑緩和の取組 （各社の取組のピーク） ・スムーズビズ（コア日） ・テレワークデイズ2019（コア日） ・国の取組	【高速】 ・本線料金所での流入調整 ・入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 ・環七内側への流入抑制（信号調整）
２５日(木)	企業等による交通混雑緩和の取組 （各社の取組のピーク）	―
<チャレンジウィーク期間中に 交通量が多いと予想される日> ※　２６日(金)	企業等による交通混雑緩和の取組 （各社の取組のピーク）	【高速】 ・本線料金所での流入調整 ・入口閉鎖による本線流入調整 【一般道】 ・環七内側への流入抑制（信号調整）
備考	・都庁及び国の取組を含む日 ・集中取組期間 ①７月２２日～８月２日 ②８月１９日～８月３０日	・課題や確認事項があれば８月２３日(金)に再度TSMの全部又は一部を実施

※２４日(水)、２６(金)にはＴＤＭとＴＳＭを同時に実施予定

４．ＴＤＭの試行内容

- スムーズビズ参加企業や、関連する取組（テレワークデイズ2019等）への参加企業に対し、試行実施を呼びかける

働きかけの手段	内容
①メールマガジン	・2020ＴＤＭ推進プロジェクトの登録企業（約1,600社・事業所：6/14現在）に定期的にメルマガを配信
②説明会	・全体説明会、地区別説明会、出張説明会（要請に応じて実施：東商支部や各協会等）
③PRチラシ 試行前アンケート票	・経済団体・業界団体を通じ、企業に配布 ・重点取組16地区でのポスティング
④イベント	・スムーズビズキックオフイベント（５／２９） ・テレワーク・デイズ2019＆スムーズビズ推進期間プレイベント（７／１）
⑤広報 （動画、ポスター等）	・動画 トレインビジョン、ＴＶＣＭ、デジタルサイネージ（主要ターミナル駅）等 ・ポスター 2020ＴＤＭ推進プロジェクト協力者、国、自治体、首都高、鉄道事業者等に配布 ・電車中吊り広告

５．ＴＳＭの試行内容

○ＴＤＭ実施期間中に、大会時と同規模のＴＳＭを実施（7/24(水)、26(金)等）

（１）高速道路において終日実施する対策
- 都心部への交通量抑制のため、都心方向への高速道路における11箇所の本線料金所で開放レーン数を終日制限
- 選手村周辺等の４つの入口については、大会期間中、交通規制の形態等から大会関係車両専用となるため終日閉鎖

（２）一般道において実施する対策
- 都心部への流入交通量を減少させるため、環状七号線上の信号機について、午前５時から正午にかけて都心方向への青時間の短縮等を実施

一般道での対策

【TSM対象箇所】
本線料金所：11箇所／32箇所（圏央道内側）
入口：4箇所／302箇所（圏央道内側）

5．ＴＳＭの試行内容

（３）高速道路において交通状況に応じて段階的に実施する対策
・交通混雑が発生しやすい箇所において交通状況をモニタリングし、一定の交通量を超えた時点で、渋滞を未然に防ぐために効果的な入口を閉鎖する。交通量が増加し続ける場合は、入口閉鎖の箇所を追加していく。
（閉鎖対象の入口は以下の図のとおり）
・閉鎖の解除については、交通状況に鑑み、渋滞等が発生する恐れがなくなった際に実施

高速道路TSM実施箇所図

都心部拡大図

【TSM対象箇所】
入口：50箇所／302箇所（圏央道内側）
対象の50箇所のうち必要な箇所を段階的に閉鎖していく。

- **入口閉鎖を実施する箇所・時間については、各日の交通状況によって異なる。**
- **事故等による渋滞が発生した際には、本線車線規制、区間通行止め、ジャンクションでの方向別規制等のほか、これ以外の入口を閉鎖する場合がある。**
- **試行の結果を踏まえて、TSM実施箇所等の見直しを行う。**